

(15)



184

エフは、国内大手や外資系の金融機関で金融ソフトウエア開発に長年携わったメンバーにより01年に設立。金融ITコンサルティング、クオンツエンジニアリング、金融パッケージソフト開発などが主な業務内容。メガバンクやメガバンク系列の証券会社が主な取引金融機関。坂本尚取締役は注力分野と金融機関に向けた提言を聞いた。

エフ

取締役

坂本 尚氏



さかもと・たかし  
大阪府出身、38歳。  
98年に米国のコミュニティ・カレッジを卒業、エイファスなどを経て、07年エフ入社、10年11月から現職。

「設立当初から金融だけにフォーカスしている。注力分野は受託」  
「注力分野は。マーケットが直接接している」  
「金融の制度や取引業務が止まる、もしくは損失につながる可能性という点で計られるべきではないか。問題が起きた時にどれだけ業務に影響を与えるのか」  
「具体的なには。改善のサービスを提供できて、初めて意味をもつ。障害の大きさは業務が止まる、もしくは損失につながる可能性という点で計られるべきではないか。問題が起きた時にどれだけ業務に影響を与えるのか」  
「元々システム自体は目的があって、活用するために生まれてきているはず。業務効率、改善のサービスを提供できて、初めて意味をもつ。障害の大きさは業務が止まる、もしくは損失につながる可能性という点で計られるべきではないか。問題が起きた時にどれだけ業務に影響を与えるのか」

# 金融ITだけに注力

## システム活用が意味を持つ

案件が基本になってい。今は制度絡みの案件が多い。上が金融機関の出身者。それをキャッチアップし続けることで他社では把握していない現状の金融業界の潮流、方向性などをノウハウ（聞き手＝安藤 克朗）